

福島県  
書道連盟  
**会報**

第31号  
令和6年3月31日発行  
福島県書道連盟  
広報部  
本部〒960-1101  
福島市大森字鶴巻67-6  
電話 (024) 539-7548

令和五年度 第四十七回福島県書道連盟展  
「紙上展」

【一般の部】

中多不覺日雲物不經時秋以碧雲倚  
聞者自雲吟金氣財勝髮佳僧心  
世覺清美疎鐘報陽林 阿部大河

岑霽詩 221×53cm

福島県知事賞

阿部大河 (小野町)

釣艇同琴酒良宵背水濱風波不起  
慶星月盡隨身浦迥湘雲卷林香嶽  
氣春誰知此中興寧羨五湖人 黃岳書

釣艇同琴酒 177×53cm

福島県書連大賞

二階堂黃岳 (福島市)

梅樹初花石 名瀾流滿山香雪送月亦更蕭瑟竹  
逢石可久高寒不之梅柳之寒市嵐翠台法華  
赤暎煙收霜之秋曉鯨音起春聲 須田愛泉

梅樹初花石 205×53cm

福島県書連大賞

須田愛泉 (福島市)

高僧手好筆神 書畫名丹 去者公案  
寄靈一上人 酒井幽泉

寄靈一上人 205×53cm

福島県書道連盟賞  
酒井幽泉 (只見町)

燕支黃葉落委望白登  
臺海上碧雲斷單于秋色來胡兵沙塞合漢  
使五關回征客燕颯口空悲蔥草摧 向陽

秋思 205×53cm

福島県文化センター館長賞  
藤井向陽 (小野町)

人生無根蒂飄如陌上塵分散逐風轉此已非常身  
落地為兄弟何必骨肉親得歡當作樂斗酒聚比鄰  
盛年不重來一日難再晨及時當勉勵歲月不待人  
令和六年年歲夏陶淵明詩次華文

人生無根蒂 230×53cm

福島市長賞  
飯沼咲華 (川俣町)

庭樹轉蕭蕭 陸壘還成之獨白 高齋  
眠寂用空音浦漁風時初暉殘燈尚  
留輝 懶怯平生懷傷集 齊藤靜雨

庭樹轉蕭蕭 177×53cm

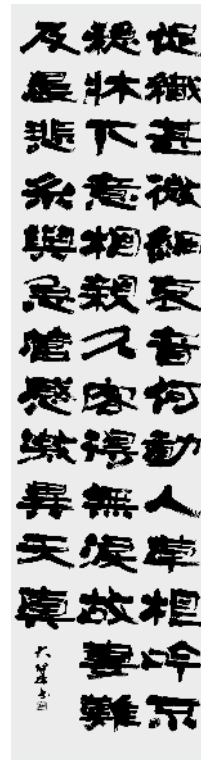
福島市教育委員会教育長賞  
齋藤靜雨 (福島市)



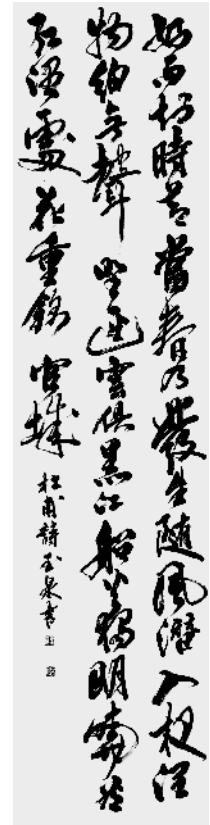
東欄の梨花 205×53cm  
読売新聞東京本社福島支局賞  
小板橋京霞(会津若松市)



趙嘏詩 135×70cm  
朝日新聞福島総局賞  
宗像芳泉(小野町)



秦州雜詩 205×53cm  
福島民友新聞社賞  
西牧大篁(小野町)



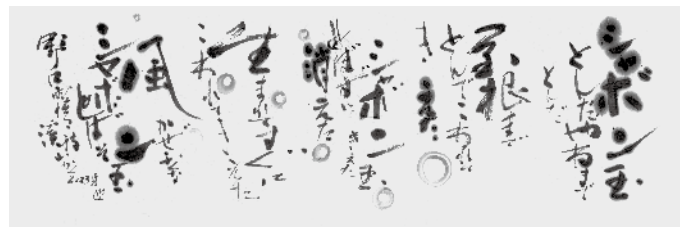
杜甫詩 224×53cm  
福島民報社賞  
鈴木玉泉(石川町)



共有尊中好 200×53cm  
福島中央テレビ賞  
阿部秋香(福島市)



白虎隊 136×53cm  
NHK福島放送局賞  
道喜珠芳(会津若松市)



シャボン玉 60×180cm  
毎日新聞福島支局賞  
神永溪山(塙町)



村山槐多の詩 70×135cm  
福島テレビ賞  
佐藤陽扇(会津若松市)

寒郊桑拓稀 秋色漸依軒  
 新鶴自飛 少影程推手  
 留歸 絲迹系 愁相迤 身飛 書畫

寒郊桑拓稀 177×53cm  
 ふくしま FM 賞  
 石渡 黄城 (福島市)

庭隙多若猫 綠葉含丹紫 翠鳥時  
 來集 張翼脩 宵形 回顧 生碧色 動搖  
 慘 縹青 牽陵 翼人 機得 親 君子 庭  
 馴心 託君 素雌 雄保 百齡

翠鳥 180×90cm  
 ラジオ福島賞  
 邊見 瑞秋 (白河市)

華 秋よ 70×136cm  
 福島放送賞  
 佐藤 清紫 (福島市)

千字文 136×69cm  
 テレビユー福島賞  
 安藤 友翠 (郡山市)

福島県知事賞を受賞して

阿部 大河 (小野町)

この度は、第四十七回福島県書道連盟展におきまして、福島県知事賞という身に余る栄誉を賜り、誠に有り難うございました。ご推挙いただきました菅野精堂会長はじめ諸先生方に心より御礼申し上げます。

今回の受賞を書道人生の節目として振り返ってみますと、折に触れて諸先生方から頂いたご薫陶のお蔭で今の私があることを痛感いたします。書道は一人の才能や価値観だけで学ぶにはあまりに膨大な学問です。諸先生方のご鞭撻は勿論のこと、時には子ども達の純粋な感性に気づきをもらいながら、これからも鈍牛の歩みを一歩ずつ進め、連盟の皆様と共に福島県の書道の明るい未来を作っていけるよう精進して参りたいと思います。非才の身ではございますが、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。

末筆となりましたが、連盟の皆様のご御健勝と御健筆を心からお祈り申し上げます。受賞の御挨拶とさせていただきます。

福島県書連大賞を受賞して

二階堂 黄岳 (福島市)

この度、第四十七回福島県書道連盟展におきまして、「福島県書連大賞」をいただき、誠にありがとうございます。これも偏に、菅野精堂会長、菅野晞光副会長をはじめ、諸先生方のお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

私は「継続は力なり」と会長がいつも説いていますように、先の先生から同様に指導をして頂きました。日頃の生活の中で多くの文字を見て、そして書いての日常ですが、書技については、諸先輩からすればまだまだ未熟です。今後も生涯学習を「書」として楽しみながら続けて参ります。これからも仲間と協力し合い、参加して参りますので、よろしくお願い致します。そして更なる研鑽を重ね、より良い作品づくりを目指していく所存です。今後

も変わらぬご指導をお願い申し上げます。結びに、福島県書道連盟の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

福島県書道連大賞を受賞して

須田 愛 泉  
(福島市)

この度は、第四十七回福島県書道連盟展において、栄えある福島県書道連盟大賞をいただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。

これも偏に、ご推挙いただきました菅野精堂会長はじめ書道連盟の諸先生方、そして、小学生の頃から今日まで、熱心にご指導くださり、ここまで導いてくださった菅野泰洲先生、曙光先生のお陰と、心より深く感謝申し上げます。また、いつも共に学び、励ましてくださる書友の皆様、本当にありがとうございます。

日々の雑事に追われる中で、気持ちを整え、書と向き合う時間は、いつの間にか自分にとって、かけがえの無いものになりました。書道の奥深さや楽しさを、ますます実感しております。今回の受賞を励みに、一層精進して参りたいと思いますので、諸先生方、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最優秀団体賞「文部科学大臣賞」を受賞して

いわき市立菊田小学校  
校長 梅原 広  
(いわき市)

この度は、文部科学大臣賞という素晴らしい賞をいただきましてありがとうございます。

本校は、知徳体の調和のとれた子どもを育成を目指して教育活動を進めています。国語の一環として行われる書写の学習においても次の要素が含まれていると考えています。

知・思考力・表現力・豊かな言語感覚  
徳・心の安定と集中力  
体・筆圧の調整力・姿勢保持力

今後も書写のよさを生かし、バランスのとれた子どもの育成を目指します。また、本校は令和五年九月に、台風十三号に伴う豪雨により浸水被害を受けました。校舎一階には泥水が入り、復旧まで二日間の休校が余儀なくされました。今回表彰があった十月十五日は、まだ校庭が使用できない状況でしたのでこの受賞は子どもたちをはじめ本校の関係者にとって大きな「励み」であり、この上ない喜びを与えてくださいました。改めて感謝いたします。

最優秀団体賞「県書道連盟大賞」を受賞して

書道研究会 大師塾  
会長 郡司 聖峰  
(田村郡小野町)

この度第四十七回福島県書道連盟展におきまして、最優秀団体賞である「県書道連盟大賞」を拝戴し、喜びとともに身の引き締まる思いです。ご推挙いただきました菅野精堂会長をはじめ同連盟の先生方に厚く御礼を申し上げます。

今回もそれぞれの部門で多くの賞をいただき、団体賞の受賞につながったことを嬉しく思っております。古典臨書を基本に理論的・具体的に指導くださる本会主宰阿部大溪先生並びに阿部大河先生の存在と、学び合い切磋琢磨できる仲間の存在、そして二八などの大きな作品に取り組むことのできる広々とした教場、という素晴らしい環境の中で勉強できることに改めて感謝し、一層精進して参りたいと決意を新たにしているところです。

結びに福島県書道連盟並びに所属される皆様の御健筆をお祈り申し上げます。受賞の御挨拶とさせていただきます。今後とも変わらぬ御指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

最優秀団体賞「福島市長賞」を受賞して

後藤教室  
後藤 翠 春  
(須賀川市)

二月末に東京にて所属している団体の全国大会の表彰式がありました。団体賞からの表彰が始まり、上位八団体も賞を頂いてきました。全国の入賞作品や全国からの出品数などが舞台の脇に用意された大きなスクリーンに映し出されました。その全国からの出品点数に愕然！二年に一度の大きな大会です。二年前の出品数は約十万点、今年は何んと七万五千点。この二年間で二万五千点も減っているのです。昨年九月末が締め切りの作品ですから、別にこれといった原因も考えられません。書道人口の減少傾向は全国的なものであろうと感じました。

ここ福島県においても例外ではないでしょう。数字に表されると一目瞭然です。考えさせられました。「書道人口を増やすには」「私なりに出来ることは何だろう」と。

末筆になってしまいましたが、この度は「福島市長賞」を頂きまして、心より感謝申し上げます。さらに心新たに頑張りたいと思っております。

高校生の部 大賞を受賞して

学校法人松韻学園福島高等学校  
三年 坂本 知優  
(福島市)

この度は、福島県書道連盟展におきまして、高校生の部で「大賞」をいただくことができ、大変嬉しく思います。私は学法福島高校の書道部に入学したことで、初めて「大字仮名」と出会いました。今までに経験したことのない書体に挑戦するにあたり、苦勞することもありましたが、顧問である菅野精堂先生の熱心なご指導を受け、ここまで上達することができました。先生や先輩から学ぶことは多く、日々の練習が発見の連続でした。やはり毎日の練習で思うような字が書けない日もありましたが、「観察」して「書く」ということの継続を大切にしていたことにより、このすばらしい結果に繋がったのだと思います。

学生の部 大賞を受賞して

埼玉大学  
四年 長久保 絢子  
(田村郡小野町)

この度は、第四十七回福島県書道連盟展におきまして、学生の部大賞をいただき、大変光栄に存じます。日頃より熱心にご指導くださる阿部大溪先生、阿部大河先生のお力添えがあつてのことと、深く感謝申し上げます。今年は大卒最後の一年であり、卒業論文、就職活動などと書を両立させるべく、努力を重ねた年でした。限られた時間の中で制作は焦りも伴い、はじめは力強い線を生み出すことに苦勞しました。さらに得意なはずの楷書が理想通りに書けないという悔しさもありました。しかしそれをバネに、改めて楷書に集中して取り組むことができ、良い結果に繋がったことを嬉しく思います。

小中学生の部 大賞を受賞して

福島市立御山小学校  
五年 五十嵐 葵

この度は、小中学生の部で大賞をいただき、心からうれしく思っています。大賞をいただいたことがきっかけで、生まれて初めて新聞の取材を受けました。記者さんの質問に答えていく中で、書道に取り組む自分自身を見つめ直すことができました。

私は、書道教室の先生の字が大好きです。将来は、学校の先生になって、先生から教えていただいた字を子どもたちに伝えたいと考えています。その夢に向かって努力することが、私のやるべきことだと再確認しました。今年度は、課題が難しくなり、思うように作品を仕上げるのができず、苦しい一年でした。そんな中、大賞に選んでいただき、多くの方々から作品を見ていただけたことは、大きな励みとなりました。

小中学生の部 大賞を受賞して

川俣町立川俣中学校  
三年 齋藤 ゆうあ

この度は、福島県書道連盟展において、小中学生の部で「大賞」をいただき、誠にありがとうございます。また、コロナウイルス感染症対策などにより、開催されていなかった表彰式に初めて参加することができて、とても嬉しく思います。

私は、左利きなので、小学校で始まる書写の授業で困らないよう、小学一年生から書道教室に通い始めました。はじめの頃は右手で書くことに苦勞しましたが、練習していくことに楽しく書道と向き合えるようになりました。今までの九年間の学びは、私にとって大切なものとなりました。

来る四月からは、再び新しい環境に身を置くこととなります。書に向き合う時間を少しでも作り、これからも自分の書を追求していければと思います。最後に、これからの福島県書道連盟のご発展をお祈りし、受賞の挨拶と致します。

この賞は皆様のご協力と家族の支えがあつてこそのお賞だと思います。感謝の気持ちを持ちながら今までの経験を生かせるようにしていきたいです。これからも常に楽しむことを忘れずに精進したいと思っています。

# 令和五年度福島県書道連盟 活動状況報告

福島県書道連盟 会長 菅野 精堂 (忠信)

## 「錬筆錬心」 〜 古典・古筆の香り漂う書 〜

「書家は錬筆あるを知りて錬心あるを知らず、蓋し点画の工は錬筆に生じ、しかしして風品の高きは錬心に生ず。」

これは中林梧竹先生※の『梧竹堂書話』の中に述べられている言葉です。「錬筆」とは、古典や古筆、師の作を真似て点や線を迷いなく正確な形で書けるようになることであり、技術を磨くことが点画の巧さを際立たせ、自身の心を養うことが作品の品格を高める、と解釈することができます。

また、「書家は錬筆あるを知りて錬心あるを知らず」とは、技術や形の精度のみを追い求める書家は多いけれども、その一方で自身の日々の心持ちが作品に大きく影響を与えることを忘れ、心を養うことを疎かにしている人が何と多いことだろうか、という嘆き

と捉えられます。私自身、自戒の念に駆られる言葉です。「錬心(練心)」とは、ある目的のために同じことを絶え間なく繰り返す作業を言いますが、梧竹先生は技よりもむしろ書の品位に目標を置いて錬心に心がけられたのだと思います。また、梧竹先生は観音様を非常に信仰され、毎早朝観音経一巻を読むことを日課とされたと言います。「技術は人格の上に成り立つ」と言いますが、書においては文房四宝(筆墨硯紙)を大切に、古典・古筆と向き合う(臨書する)ときの心の有り様こそが「錬心」の基礎になるのではないかと思えます。

臨書とは対話です。自分が求める古典・古筆に込められた筆意や筆脈は元より、筆者の気持ちや息遣いまでも学ぶ(真似ぶ)ことで獲得した技術と養った心を創作活動に活かすことが、作品づくりで最も大切なことの一つであると気付かされます。展覧会等で多種多

様な作品を鑑賞しますが、不断の臨書活動に裏付けされ、優れた古典や古筆の香りが漂う作品は、やはり秀逸であり心に響きます。

そして、書に向き合い、人と向き合い、自らと向き合い、日々のお稽古を通じて「錬心」を欠かしません。心がかもっている指導や場面、作られるものごとには温かみ加わり、周りの人々の気持ちを引き付ける力を持ちます。

今年度の第四十七回福島県書道連盟展も、福島県内外から書を愛する多くの皆様から「心」が込められた素晴らしい作品を出品していただき、無事に開催できましたこと、福島県、県教育委員会をはじめとする多くの後援団体様からのご支援のお蔭と、心より感謝申し上げます。

「錬心」の「心」とは、感謝の心、お蔭様の心、素直な心、謙虚な心、主体的な心など、私たちの日常生活を送

る上で必要な心そのものなのかもしれません。最も大事なことは、そこに心がかもっているかどうかを省みることではないでしょうか。

このような「心」を大切にしながら、私たち福島県書道連盟も確かな歩みを続けて参りたいと思います。

※注 中林梧竹……文政一〇年(一八二七)〜大正二年(一九一三)。明治時代の書家。日下部鳴鶴や巖谷一六らとともに「明治の三筆」の一人。現在の佐賀県小城市出身。



紙上遺墨展

天地相合 副会長 故・佐藤 雅 峰 先生 (宮城県大河原町)

天地は相合して 以て 甘露を降らす

36 × 135cm

偶成 副会長 故・佐藤 雅 峰 先生 (宮城県大河原町)

菱草青々 水は湖に満ち 湖辺の鵝鴨 自ずから相い呼ぶ  
日長く睡起し 簾を巻いて坐し 閑に漁舟の喚びて 鱸を売るを聴く

53 × 136cm



【追悼】 會津会錬成会にて  
故・湯田永清先生 ご揮毫のお姿  
R5.4月 於：城南コミュニティセンター  
(会津若松市東年貢)

205 × 53cm

晴樹遠く  
曉峰 遠く 浮雲 晴出 春江  
永清 先生 謹書

晴樹遠く 故・湯田 永清 先生 (南会津町)



【追悼】 故・佐藤雅峰先生 (いちばん右)  
R1.11.3 於：とうほう・みんなの文化センター

【学童の部】

◎大賞

福島市立御山小学校  
五年 五十嵐 葵

飛行  
御山小五 五十嵐葵

◎準大賞

小野町立小野小学校  
六年 岩塚結咲

太陽  
小野小六 岩塚結咲

いわき市立植田小学校  
六年 片寄心詩

希望  
植田小六片寄心詩

【高校生の部】

◎大賞 秋風に

学法福島高校 三年 坂本知優  
(福島市)

秋風に  
学法福島高校 三年 坂本知優

◎準大賞 臨 孫秋生造像記

福島東高校 三年 鳴原莉子  
(二本松市)

孫策雀那瀉靈  
孫策雀那瀉靈 魏靈助傳伏  
恭李定趙龍樹 雀那瀉靈 魏靈助傳伏

◎準大賞 臨 石鼓文

福島東高校 二年 高橋朋美  
(福島市)

謝車工謝家...  
謝車工謝家... 謝車工謝家...

◎準大賞 臨 蘭亭叙

南会津高校 三年 五十嵐 茜  
(南会津町)

永和九年歲在癸丑暮春之初會  
于會稽山陰之蘭亭脩禊事也

【学生の部】

◎大賞 王文治詩

埼玉大学 四年 長久保 絢子  
(小野町)

芍藥已殘時芙蓉散  
未放惟有蜀葵花紅  
尤照書幌

◎準大賞 臨 張黑女墓誌銘

日本大学 四年 上石 早姫  
(三春町)

置水故以清潔遠祖  
和吏部尚書并

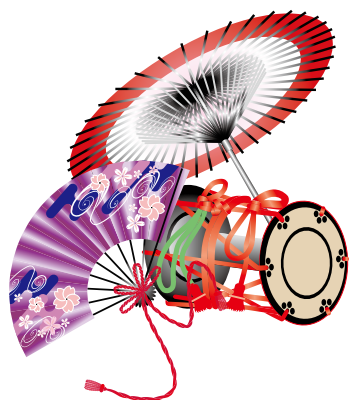
◎準大賞 王文治詩

福島県立医科大学 二年 長久保 周子  
(小野町)

准浦干林物...  
准浦干林物... 准浦干林物...

永和九年歲在癸丑暮春之初會  
于會稽山陰之蘭亭脩禊事也





行達尊言語

典道 公 書

行達尊言語

昭和二年生・九十六歳  
湯田 典道 (南会津町)



福寿賞



136×35cm



第39回読売書法展 東北展



第39回読売書法展 表彰式  
於：山形ランドホテル R5.10.25

会期・会場

◎東北展  
令和五年十月二十五日(水)  
二十九日(日)

《第一会場》山形美術館  
《第二会場》山形県芸文美術館

第三十九回読売書法展  
(二〇二三年)

第三十九回読売書法展「学生の部」に出品して  
県内の高校生で唯一の「入選」  
学法福島高校 三年 坂本知優さん



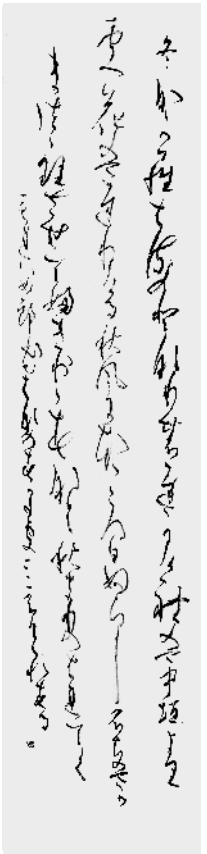
夕日数峰遠く霧々江南を思ふ  
煙外鐘聲有り山僧独り寺に帰る

夕日数峰遠  
副会長 菅野晞光  
(福島市)



月幾世 照らせし鷗尾に 今日月

水原秋櫻子の句  
会長 菅野精堂  
(福島市)



冬ながら 春のとなりの 近ければ 中垣よりぞ 花は散りける  
秋風に ほころびぬらし 藤袴 つづりさせてふ きりざりす鳴く  
秋霧の 晴れて曇れば 女郎花 はなの姿ぞ 見え隠れする  
(古今和歌集)

冬ながら  
会長 菅野精堂  
(福島市)



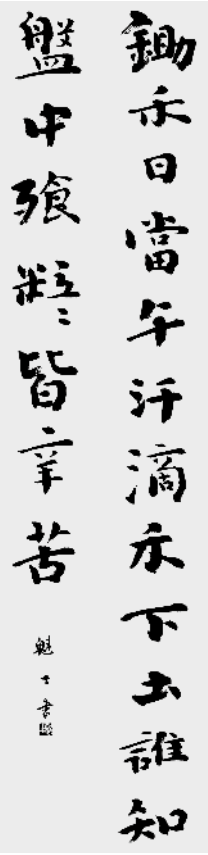
夢與落花飛

客員 菅野泰洲  
(福島市)



季元衡語并周星蓮語

常任理事 阿部大溪  
(小野町)



鋤亦日當午汗滴亦下土誰知  
盤中強粒皆辛苦

五言絶句  
常任理事 渡辺魁士  
(三春町)



盧綸

理事長 目黒仁舟  
(只見町)



表彰式・祝賀懇親会  
於：ホテル福島グリーンパレス R5.11.19



祝賀懇親会にて 黄雅書道会 波呂静植さん R5.11.19



祝賀懇親会 後藤教室の皆さん



祝賀懇親会 硯心書道会の皆さん R5.11.19



祝賀懇親会



県知事賞 阿部大河さん (大師塾)



小中学生の部表彰式  
於：とうほう・みんなの文化センター R5.10.15



小中学生部表彰式  
文部科学大臣賞 菊田小学校様 R5.10.15

第四十七回福島県書道連盟展

▼会期 令和五年十月十二日(金) 十五日(日)

▼会場 とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター)

三階展示室

▼表彰式 十月十五日(日) 二階大会議室

◎一般の部

- ・福島県知事賞 阿部大河(小野町)
- ・福島県書連大賞 二階堂黄岳(福島市)
- ・福島県書連大賞 須田愛泉(福島市)
- ・福島県書道連盟賞 酒井幽泉(只見町)
- ・福島県文化センター館長賞 藤井向陽(小野町)
- ・福島市長賞 飯沼咲華(川俣町)
- ・福島市教育委員会教育長賞 齋藤静雨(福島市)
- ・福島民報社賞 鈴木玉泉(石川町)
- ・福島民友新聞社賞 西牧大篁(小野町)
- ・朝日新聞福島総局賞 宗像芳泉(小野町)
- ・読売新聞東京本社福島支局賞 小坂橋京霞(会津若松市)
- ・毎日新聞福島支局賞 神永溪山(塙町)
- ・NHK福島放送局賞 道喜珠芳(会津若松市)
- ・福島テレビ賞 佐藤陽扇(会津若松市)
- ・福島中央テレビ賞 阿部秋香(福島市)
- ・福島放送賞 佐藤清紫(福島市)
- ・テレビユー福島賞 安藤友翠(郡山市)
- ・ラジオ福島賞 邊見瑞秋(白河市)

◎学生の部

- ・ふくしまFM賞 石渡黄城(福島市)
- ・大賞 長久保絢子(埼玉大学四年)
- ・準大賞 上石早姫(日本大学四年)
- ・準大賞 長久保周子(福島県立医科大学二年)

◎高校生の部

- ・大賞 坂本知優(学法福島高校三年)
- ・準大賞 鳴原莉子(福島東高校三年)
- ・準大賞 高橋朋美(福島東高校二年)
- ・準大賞 五十嵐茜(南会津高校三年)

◎小中学生の部

- ・大賞 五十嵐葵(御山小学校五年)
- ・大賞 齋藤ゆうあ(川俣中学校三年)
- ・準大賞 岩塚結咲(小野小学校六年)
- ・準大賞 片寄心詩(植田小学校六年)
- ・準大賞 星 真心(清水中学校一年)
- ・準大賞 薄井 悠(表郷中学校二年)

◎福寿賞

- ・湯田典道(昭和二年生・九十六歳・南会津町)

◎最優秀団体賞

- 文部科学大臣賞 いわき市立菊田小学校(いわき市)
- 県書道連盟大賞 書道研究会大師塾(小野町)
- 福島市長賞 後藤教室(須賀川市)

◎団体特別賞

- 富田東書写研究会(郡山市)
- いわき市立長倉小学校(いわき市)
- 福島大学附属小学校(福島市)
- 葛尾村立葛尾中学校(葛尾村)
- 矢吹町立矢吹中学校(矢吹町)
- 白河市立東中学校(白河市)
- 福島県立福島高等学校(福島市)
- 福島県立福島東高等学校(福島市)
- 学校法人松韻学園福島高等学校(福島市)
- 硯心書道会(福島市)
- 會津会(会津若松市)
- 五十嵐書道教室(南会津町)
- 太陽書道教室(塙町)
- 西丸書道教室(古殿町)

◎優秀団体賞

- 高橋書道教室(福島市)
- 水口書道会(川俣町)
- 池田書道教室(喜多方市)
- 小松山書道教室(喜多方市)
- 若菜書道教室(福島市)
- 魁士書院(三春町)
- 木村書道教室(喜多方市)
- 紫雪書道教室(福島市)
- 松浦書道教室(国見町)
- 星野書道教室(郡山市)
- 古関書道教室(白河市)
- 大橋書道塾(福島市)
- 梓風書道教室(福島市)
- みずほ書道教室(伊達市)
- 黄雅書道会(福島市)



第47回連盟展会場 於：とうほう・みんなの文化センター

第47回連盟展 会場